



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

# 中部の森林



長野県木曾郡上松町 国有林内 温帯性針葉樹林

## 3百年先の未来の森林を目指して!

木曾地方の温帯性針葉樹林の  
保存・復元に向けた取組検討報告書が提出される

(P 2 に関連記事)

主な項目	○木曾地方の温帯性針葉樹林の保存・復元に向けた取組検討報告 …………… P 2
	○平成25年度治山・林道工事コンクール表彰式開催 …………… P 3～4
	○各地からのたより …………… P 5～6
	○シリーズ「森林官からの便り」 …………… P 6～7
	○シリーズ「ご当地自慢」 …………… P 8



# 木曽地方の温帯性針葉樹林の 保存・復元に向けた 取組検討報告

【計画課】中部局では、平成二十五年度重点取組の一つとして木曽地方（今回の取組では、長野県内の木曽谷及び岐阜県内の裏木曽を指します）の温帯性針葉樹林の保存・復元に向けた取組の検討を進めてきました。

温帯性針葉樹とは、木曽五木（ヒノキ、サワラ、コウヤマキ、ヒバ、ネズコ）にスギ、ツガ等が含まれます。陸乾燥地の拡大や氷河期の顕在化など地球環境の変化による衰退と其後の文明の発達に伴う造船材や建築材等としての利用により、世界の温帯性針葉樹林は次第に姿を消していきました。

こうした中であって、現在も温帯性針葉樹がまとまって自然度の高い状態を構成している木曽地方の針葉樹林は非常に貴重なものとなっています。

このため、本年度からこれを保存していくための取組を始めることとしました。本年度は有識者や地元関係者等に検討委員をお願いし、取り組む方向について検討を行ってきました。三回目となる三月四日の検討委員会で報告書（案）が了承され、山本進一座長（名古屋大学（名誉教授）から鈴木局長に報告されました。

報告書の概要は次のとおりです。



山本座長から鈴木局長へ報告書の提出をいただく

対象は、長野県の上松町、大桑村、王滝村と岐阜県の中津川市に所在する国有林で、面積は木曽地方の国有林野約九万八千ヘクタールの十七パーセントに当たる一万六千五百七十九ヘクタール。

大きな特徴は、木曽地方の森林は既に多くが人工林に転換され、人工林と天然林がモザイク状に配置されていることから、長期にわたって温帯性針葉樹林を維持していくために天然林の間に存在する人工林を天然林へ誘導する温帯性針葉樹林の復元に合わせて取り組むことです。

このため、従前の保護林にあたる「温帯性針葉樹林を厳格に保存」する区域に、将来はこれと同様の森林になり得る

区域、さらには、外部からの影響の緩和と、森林資源の持続的利用を行う区域を加え、三層構造の区域を設定することとしています。

具体的には、温帯性針葉樹を厳正に保存する区域（核心地域（コア a））、人工林の天然林への誘導を通じて温帯性針葉樹林の復元を図る区域（核心地域（コア b））、保存・復元に取り組む区域に対する区域外からの影響を緩和するとともに森林資源を利用する区域への移行地域となる区域（緩衝地域）の三つの区域に区分した上で、それぞれの区域毎の森林の取扱い方針を示すこととしています。

検討委員会での審議の結果、方針、方向性について、関係者間で合意形成することができました。

今後、取組を進めるに当たっては、こ



第三回検討会の様子



取組区域の森林

の地域が木曽ヒノキの中心的産地であることから、国民的な伝統行事や国宝・重要文化財等歴史的建造物の修復等への対応が必要になります。また、未立木地の取扱いや、確度の高い天然更新技術等の課題をクリアする必要があります。このため、これらの課題解決に向け、管理委員会を設置し検討を進めていくこととしています。

課題も多い中でのスタートですが、三百年以上先の未来の森林を目指す、夢のある取組でもあります。また、非常に長い期間をかけて進めていかなければならないことから、国有林職員のみならず大学やNPO、地元等多くの方々の協力を得ながら進めていく取組になると考えています。



# 平成二十五年度治山・林道工事 コンクール表彰式開催

〔治山課・森林整備課〕平成二十五年度治山・林道工事コンクール表彰式を、三月六日に中部森林管理局において実施しました。

このコンクールは、国有林野の公益的機能を十分に発揮させ、森林林業の再生の推進その他の事業実施における施策効果を一層発現させることに貢献した治山・林道工事であって、民有林の模範としてふさわしいものを表彰することにより、治山・林道工事における計画・設計・施工の適正化及び設計・施工技術の向上、並びに関係者の意欲高揚に資することを目的に治山部門は昭和四十二年度、林道部門は昭和四十四年度から実施



計画保全部長講評

しています。

前年度に中部森林管理局管内で施工した、治山工事百四十八件、林道等工事十五件を対象に施工管理全般及び安全管理について審査を行い、治山部門で十四件、林道部門で六件を優良工事として選出し、この中から、優秀工事として治山部門三件・林道部門二件を林野庁表彰に推薦し、林道部門で農林水産大臣賞を受賞、ほか四件が林野庁長官賞を受賞しました。

また、優良工事として選出した、治山部門の十一件、林道部門の四件と、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞を受賞した工事の現場代理人、主任技術者並びに監督職員が中部森林管理局局長賞を受賞しました。

表彰式は、角計画保全部長が審査結果の報告を行った後、鈴木局長から受賞者に表彰状が授与されました。



受賞者を代表してのご挨拶「富貴屋建設株」

なお、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞の授与式は局長表彰に先立ち、二月二十四日林野庁において行われました。各賞の受賞者は次のとおりです。

## ◎農林水産大臣賞

### 〔林道工事部門〕

◇大山土木株式会社

（高山市）

東俣谷林業専用道新設工事

（飛騨署）



東俣谷林業専用道新設工事 完成状況

## ◎林野庁長官賞

### 〔治山工事部門〕

◇株式会社高宮組

（松本市）

ワラビ沢（2）災害関連緊急治山工事

（大協建設株式会社）

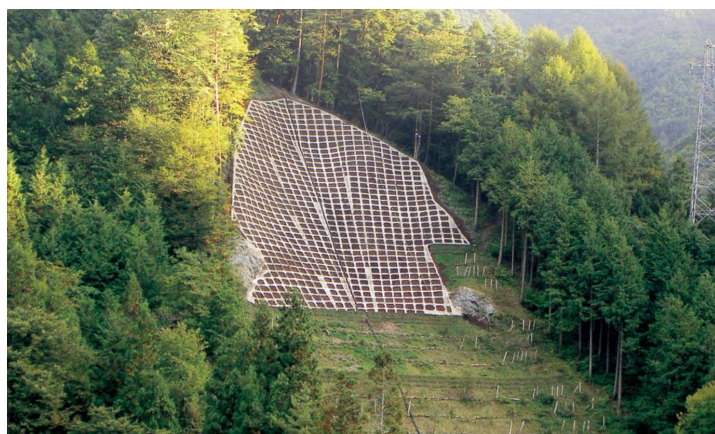
（大鹿村）

（伊那谷総合）

（飛騨署）

（飛騨署）

（飛騨署）



鷹ヶ巣復旧治山工事 完成状況

◇今泉建設株式会社

（岡崎市）

闇苅（男川支溪）復旧治山工事

（愛知所）



闇苅（男川支溪）復旧治山工事 完成状況



〔林道工事部門〕

◇奥田工業株式会社 (大桑村)

白川支線林業専用道新設工事 (木曾署)

◎中部森林管理局長官

〔治山工事部門〕

◇大高建設株式会社 (黒部市)

松尾谷復旧治山工事 (富山署)

◇信州林業株式会社 (長野市)

西ノ沢復旧治山工事 (北信署)

◇株式会社牛木組 (上越市)

ウド川地すべり防止工事 (中信署)

◇富貴屋建設株式会社 (駒ヶ根市)

瀬戸沢復旧治山工事 (南信署)

◇ソフトウェア建設株式会社 (諏訪市)

平成二十四年度瀬戸沢復旧治山工事 (南信署)

◇大宗土建株式会社 (南木曾町)

南沢水源地域整備工事 (南木曾支署)

◇協業組合日・C建設 (飛騨市)

舟原山 (栃洞谷支溪) 復旧治山工事 (飛騨署)

◇株式会社清水建設 (飛騨市)

大谷 (脇谷橋) 復旧治山工事 (飛騨署)

◇株式会社梅田組 (飛騨署)

乗政 (第二無線谷) 復旧治山工事 (下呂市)

◇株式会社加地工務店 (岐阜署)

出の小路 (二本木谷外) 復旧治山工

事 (東濃署)

◇有限会社共和土木 (恵那市)

上矢作 (乗越沢) 水源地域整備工事 (東濃署)

〔林道工事部門〕

◇株式会社羽田組 (長和町)

男女倉林業専用道新設工事 (東信署)

◇吉川建設株式会社 (飯田市)

割沢治山運搬路新設工事 (伊那谷総合)

◇森建設株式会社 (高山市)

一色第二林業専用道新設工事 (飛騨署)

◇松田建設株式会社 (下呂市)

伊勢谷林業専用道新設工事 (岐阜署)

〔現場代理人・主任技術者 及び 監督職員部門〕

◇東俣谷林業専用道新設工事

大山土木株式会社

現場代理人 橋本 雅広

主任技術者 翠尾 恭介

飛騨森林管理署

監督職員 亀井 盛孝

◇ワラビ沢 (2) 災害関連連緊急治山工事

株式会社高宮組

現場代理人 田上今朝幸

主任技術者 齋藤 文雄

中信森林管理署

監督職員 小田切英市

◇鳶ヶ巣復旧治山工事

大協建設株式会社

現場代理人 古田 章

主任技術者 久保田 弘

伊那谷総合治山事業所

監督職員 富谷 好生

◇闇苅 (男川支溪) 復旧治山工事

今泉建設株式会社

現場代理人 藤城 明義

主任技術者 徳耕 克始

愛知森林管理事務所

監督職員 吉原 浩司

◇白川支線林業専用道新設工事

奥田工業株式会社

主任技術者 新井 新作

木曾森林管理署

監督職員 古畑 輝雄



伊勢谷林業専用道新設工事 完成状況

長野県林業大学校  
インターンシップ等研修  
発表会が開催される

〔総務課〕二月十四日に、長野県木曾郡

木曾町の長野県林業大学校では、二年生

十九名がインターンシップ等で体験し、

学んだことを各自発表するインターシッ

プ等研修発表会が開催されました。

中部森林管理局インターンシップに平

成二十五年度は六署で、学校五校から学

生十六名を受け入れ、うち長野県林業大

学校からは、木曾署に一名、中信署に一

名、南信署に一名を受け入れました。

この三名が、それぞれの署でのイン

ターンシップの体験を発表しました。

城内優希さんは木曾署での体験を発

表、特に長野県西部地震治山施工地での

見学や森林整備ボランティア指導を行

い、森林に見事に復旧している被災地へ

の復旧努力と下流の皆さんのボランティア

アによる活動に心を打たれたとの発表が

ありました。



城内優希さんの発表